

図書館利用者と大泉図書館長との懇談会

- 1 日時 平成 25 年 11 月 9 日（土） 15 時～16 時 30 分
- 2 場所 大泉図書館 2 階 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 21 名
図書館 5 名（大泉図書館長、職員 4 名）
- 4 配布資料 (1) 練馬区立図書館ビジョン
(2) 平成 24 年度大泉図書館実施事業
(3) 大泉図書館実施事業参考資料
(練馬区と協働・地域との連携・近隣施設との協働・小中学校との連携)
- 5 次第 (1) 「大泉図書館建設の記録」DVD 上映
(2) 大泉図書館長あいさつ
(3) 地域との連携・取組事例の報告
(4) 利用団体の活動状況
(5) 今後地域情報発信拠点としての大泉図書館に求めるもの
(6) 大泉図書館長あいさつ

図書館利用者と大泉図書館長との懇談会 要録

1 大泉図書館長あいさつ

本日はお忙しい中「図書館利用者と大泉図書館長との懇談会」にお集まりくださり、ありがとうございます。ご覧になったDVD「大泉図書館建設の記録」からもわかりますように、当館は地域の皆様の力によって作られた図書館です。「練馬区立図書館ビジョン～これからの図書館サービスのあり方～」の基本理念「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」この理念に基づいて、これからの図書館サービスの方向性ということで、4つの大きな柱が立てられています。この中から「情報発信拠点の機能の充実」の柱を取り上げて、今回のテーマとして「地域情報発信拠点としての大泉図書館」を設定しています。

本日は、このテーマに沿って、これまでの大泉図書館の取り組みについてお話するとともに、今現在図書館を利用している団体の方々や近隣施設の方々、一般利用者の方々から建設的な意見をいただく場にしたいと思っています。

2 大泉図書館地域との連携・取組事例の報告

(1) 練馬区と協働

環境課との協働による「ねりま eco チャレンジ！LED 節電プロジェクト」

(2) 地域との連携

アニメーションコーナーの設置、アニメーションコーナーの拡充、アニメ白熱教室～アニメ業界を知ろう！、地域に関連した展示、地域巡回展示「発信！ねりま産 大泉産」

(3) 近隣施設との協働

暮らしの講座「暮らしと防災」、「はたらく消防の写生会」の優秀作品レプリカ展示、大泉学園在宅介護支援センターとの協働による「認知症サポーター養成講座」、大泉保健相談所との協働による「職員講座ちょっと昔ね・り・まの食卓」、大泉保健所との協働による食生活講座「野菜とれとれ！ね・り・まの食卓」

(4) 小中学校との連携

大泉西小学校2年生図書館見学、大泉中学校オリエンテーション、泉新小学校修理講習会、大泉学園小学校読み聞かせ会、本友委員会、出張おはなし会、大泉特別支援学校出張おはなし会、大泉学園中学校文芸部作品展示、大泉小学校詩の作品集展示、泉新小学校のPOP展示、大泉中学校の生徒による絵本紹介カード展示

3 利用団体の活動状況

大泉絵本の会

この会は大泉図書館建設懇談会の段階で出来上がった会で、39年になります。地域の図書館にしよう、皆さんに関心をもってもらおうということで始めたのがきっかけです。1年間かけて、わかやまけん氏が選んだ世界の絵本をみんなで見ようという会があり、その会が終わった後から私たちが引き継いでいます。図書館の絵本選びの際、少し参考になったのではと思います。その後、私たちは文庫活動をしている者も多かったため、絵本を見るものさしを自分で持とうということで、毎月絵本を見る会を継続して行っています。これは、テーマを決めて絵本のリストを作り、そのリストを図書館に渡して本を集めもらい、見る目を養うという活動です。今は「幼児のためのおはなし会」などに使えるものがないかなどの観点も含めて勉強しています。

シェイクスピア読書会

シェイクスピアは37の戯曲を書いています。それを全部読破しようということで始まった会です。2010年に始まり、月に1冊ずつ読んでいくということでやってきましたが、今年の7月で読破しました。せっかく読破したのに、そのまま解散するのはもったいないということで、今はギリシャ神話を勉強しています。今後も勉強を深めていこうと思っていますので、名称についても今後考えていこうと思っています。

翔の会

平成10年頃から始まり、メンバーは10名程度で、年代は70歳前後です。月に一度この視聴覚室を借りて勉強しています。短歌に興味をお持ちの方はぜひご参加ください。これからもお世話になりたいと思いますので、よろしくお願いします。

夏目漱石を読む読書会

私たちは今年の4月に誕生しまして、半年位です。その間に、最初『坊ちゃん』を読み、次に『草枕』、それから『吾輩は猫である』、今は『三四郎』を読んでいるところです。毎月第2土曜日午後やっています。夏目漱石が書いた長編が13ありますので、全部読み切ろうということで頑張っています。ご希望の方は、ぜひご参加ください。

一言お願いをしたいのですが、漱石の本が文庫を除いて、開架にないことが実に残念です。

古典の文芸ものは漱石にしる、鴎外にしる開架に入ると、皆さんの目にふれるのでよろしくをお願いします。

ねりまおはなしの会

この会は発足して 30 数年でして、大泉図書館が開館とあまり変わらない頃から活動しています。開館まっりの時は、おはなし会をして、たくさんのお子さんがみえたそうです。今は会員が約 40 人で、その中の 6 人程がローテーションで毎月第 2 土曜日に子供たちに視聴覚室でおはなしをしています。この頃は、図書館に小さいお子さんが、お父さんとお母さんとみえることが多く、特に大泉図書館は小さいお子さんが多いので、小さいお子さん向けのおはなしだけでなく、見て楽しんでもらえるもの、手遊びやわらべ歌なども交えています。最近はお母さんと一緒の方よりお父さんと一緒のお子さんが多く、時代の移り変わりを感じています。会員は、新しい人もいますので、新しい方、若い方に来てもらい、長い間続けていきたいと思っています。

浜中文庫を楽しむ会

「浜中文庫」は、初代館長の浜中氏的意思によって寄贈された英語の絵本に素晴らしいものがたくさんあるので、それを読んでいこうという会です。活動は第 3 水曜日の月 1 回で 15 年位になります。毎回新しい発見があり、学校で学んだ英語の勉強とまた違って楽しみながらできるので、皆さん自分のペースに合わせて読みたい本を読んで楽しんでいる会です。

ひよこの会

この会は、30 年近く前にこの図書館で布絵本の作り方の講習会があり、その時に最初に作った本がひよこの本だったことから、「ひよこの会」という名前にし、その集まった方たちの中でなくすのはもったいないということで、「ひよこの会」を発足して現在まで続いています。メンバーは今 30 名近くいますが、参加は 20 名前後で、第 2、第 4 水曜日に布の絵本を作り、それを図書館に置いてもらい、区民の皆様に利用していただいています。新しいメンバーが増えず、作り手の年代が上がってきていますが、楽しみながら作っていますので、この会が長く続いていけばいいなと思っています。

藤沢周平と大泉の会

藤沢氏は、大泉の今のヤマダ電気のところに、晩年 20 年ほど住み、だいたいの名作といわれるものは大泉学園で生まれたと私は思っていますが、97 年に亡くなりました。藤沢氏は今のように人気作家ではありませんでした。まだマイナーな方だったので、地元の大泉学園で、藤沢作品を読む会を作ろうということで 2000 年に発足しました。2001 年にこの図書館に藤沢周平コーナーを作ってもらい、それ以後ずっと活動していますので、13 年位になります。私たちもせめて全ての藤沢周平の本を読もうということで、毎月 1 冊本を読んできました。藤沢氏の作品は 67～68 冊ありますが、数年前に全部読み切りました。今はピックアップしながら作品を読み続けています。毎月第 4 日曜日の午後に集まっています。この読書会はメンバーが意外と減らず、ずっと 40～50 人集まって本を読んでいます。下のコーナーは最近おさなりになっていますので、もう少し刺激的なコーナー作りをしたいと思っています。山形県

鶴岡市にも記念館ができましたので、そこから借りるなどして色々なことを実施していけたらと思っています。この大泉地域には五味康祐など、もっと色んな方が住んでいたもので、何かの形で大泉地域の作家たちの活動を取り上げるなどして、もう一度地域の図書館ということをみんなで考えていけたらいいのかなと思っていますところ。

ブックスタート

毎週木曜日の 10 時 30 分～11 時 30 分という枠でこちらの部屋でブックスタートを実施しています。メンバーは 21 名で、ボランティアの方なども含め比較的大勢いますので、赤ちゃんと一対一を心掛けてやっています。今のお母さんは子育てで不安な面等もあると思うので、地域が応援していますよというメッセージをお届けしながら活動しています。

朗読サロンこだま

私たちは、この図書館を利用してちょうど 1 年半位になります。名前のとおり朗読サロンということで、色んなジャンルの文芸作品を気楽に楽しもうという趣旨で発足し、図らずも 60 代 70 代の女性が大勢集まりました。古典等の原文の有名なさわり部分や、様々な時代の文芸作品、幼児向けの絵本なども味わいながら楽しんで読んでいます。12 月 1 日に朗読会を予定していますが、大人も楽しめるとしています。私自身今まで通り過ぎていた絵本の世界が、ものすごく奥深いものがあり、心に深く感銘を受ける作品ばかりなことに気づかされています。そういうものを大人の方にも味わっていただくととても楽しいんじゃないかと思っています。

図書館 12 月 1 日の朗読会は最初お部屋貸しだけの予定でしたが、図書館としても協力したいと思い、今回協働することになっています。図書館側も何か一緒にやっていければと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

今日多くの団体が参加していますが、今までそれぞれ決まった日時に活動していたかと思いますが、それぞれの団体がどのような活動をしているか知る機会がなかったと思いますので、今日こういった場はとてもいい機会になったと思っています。

利用者 今回、懇談会ということで出席していますが、懇談会とはそもそもあるテーマに沿って、ざっくばらんに話し合う場だと思います。今回の場合、単なる報告会になっているので、これだけ読書会の方が参加しているので、「読書会の今後」というテーマで話し合った方がいい会になると思います。

図書館 まだ会の途中であり、ここから話を進めていきますので、お待ちください。

そあ季の花保育園

私達は、今年の 4 月からすぐそこに保育園を開設しました。120 名の定員のため、この静かな地域にいきなり賑やかな声が響き、図書館をご利用の皆様にご迷惑をかけていないか心配をしています。図書館の利用の仕方としては、子供が行ったり、本を借りたりといった程度です。図書館や色々な会と連携して地域に根差した保育園づくりができればいいなと思っています。

大泉西小学校

大泉西小は平成 23、24、25 年度東京都指定の言語能力向上推進事業ということで、児童の言語能力の向上を図る取り組みをしています。もう一つの柱として、図書館との連携ということで学校図書館の整備や、読書活動を進めていくために、大泉図書館と連携しています。大泉図書館から支援員が本校に来て、図書の排架、本棚の整理整頓、貸出方法・管理方法の改善、季節に合ったテーマ展示、学習内容に沿った図書の整備をしてもらっています。昨年度のアンケートでは、90%以上の児童が「図書館が変わった」「使いやすくなった」と答えていて、図書の利用が増えています。これからも支援をお願いします。

大泉保健相談所

図書館との協働で、今年度2回講座をしています。これからどういう形で「食べること」「健康」ということを皆様にお届けできるか、図書館事業として一緒に考えていきたいと思っています。今後ともよろしくをお願いします。

大泉高齢者相談センター大泉学園支所

昨年度までは、チラシを置いてもらうだけでしたが、今年度は協働で事業をしたいということで、共催で「認知症サポート養成講座」を開催しました。今回、図書館での開催ということで、今までにない40代50代の若い方の参加がありましたので、活動の場を広げることの大切さを実感しています。今回これだけ地域で活動されている団体が多くいることを学びましたので、図書館が大人や高齢者の活動の場になっていることを、私たちからも発信していきたいと思います。

練馬区障害者就労促進協会

以前から図書館で働きたいという声が多くありました。今年に入り、図書館での採用を検討しているというお話をいただき、1名雇用していただき、色々な配慮の中、安定してお仕事をしているという状況です。図書館で働きたいという声が多くありますので、今後ともぜひ一緒にやっていければと思います。

大泉障害者地域生活支援センターさくら

「地域の中で楽しみ、余暇として参加できる場所がない」という相談を受けたときに、「図書館に行ってみたらどうですか」と紹介をしますが、障害のある方にとってちょっと敷居が高いんですね。目が見えない、聞こえない、日本語の理解が少し難しいなどといった理由で、今まで使ったことがない方がいます。本を借りるだけでなく、色々なことをやっているということをまず私たちが理解し、障害者の方に紹介していければいいなと思っています。

4 今後地域情報発信拠点としての大泉図書館に求めるものについて

利用者 これだけ短い時間なので、テーマが決まっていれば配布資料があるならば、前もって先に資料を配布し、このようなテーマの懇談会をやりますと周知しておけば、もっと建設的な意見も出ると思います。

図書館 今回はじめての開催ということもあり、皆さんから一方的にお話を聞く形になっ

たところもありますが、まずこれが第一歩で、この図書館にどんな方がどんなふうに関わっているか聞いていただきたく、このような形にしています。初めてということもあり、不手際もありましたが、今後うまく行っていければと思っておりますので、長い目で見ていただければと思います。

利用者 「練馬区立図書館ビジョン」の中に4つのテーマがありますが、この会の趣旨は、区民や地域との協働ということに関わっていると思います。この図書館ができたときは、非常に情熱をもって図書館活動を皆さんやっていましたが、いつの間にか冷めてしまいました。しかし、この大泉図書館は最近伸びてきている。貸出などにおいても、区内3番目くらいの勢いがある。これからは地域の人々と気軽にお話し合いができるようなシステムができればいいと思います。地域の声を吸い上げて、頼りにされる、愛される図書館にすると練馬区立図書館ビジョンにもありますので、これからもこういう機会をぜひ設けてほしいと思います。

図書館 大泉図書館は駅の近くにあるわけではなく、交通の便もよくない住宅街にあるわりには、貸出数などとても多い図書館となっています。ということは、地域の皆さんに利用されている、愛されている図書館だということが分かりますので、これからは期待に応えられるような事業をやっていききたいと思います。また、指定管理者館になり2年目ということもあり、色々試行錯誤しているところでもありますので、区民の皆様からいただいたご意見を取り入れていきたいと思っていますし、今日いらしている団体の方々や近隣の施設などとの協働も考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

利用者 図書館では読書会をはじめ、色々な方が様々なことをしていると知りました。朗読サロンこだまに声をかけていただければ、それぞれの施設に合ったイベント内容も考えることも可能だと思います。また、これだけ色々な団体があるので、それを繋げる役目を図書館が担えば、活気ある大泉になると思います。

図書館 貴重なご意見ありがとうございました。そういったことも含めて、今日はどういう団体があって、どういう活動をしているのかということがお分かりになったと思っていますので、それを基に発展させていければと考えていますので、よろしくお願いします。

利用者 今日はDVD上映もあり、このような座席配置だったと思いますが、ぜひ次回は丸く配置してほしいです。

図書館 おっしゃるとおり、今回はこのような形になってしまいましたが、次回はそのような形でやりたいと思っています。

利用者 先ほどのDVDで移動図書館というものを始めて見て非常に驚きました。私たち大泉高齢者相談センター大泉学園支所は、高齢者の方の介護や介護予防の相談をやっていて、大泉学園や東大泉を受け持っていますが、図書館までのアクセスが非常に悪い地域が多くあります。図書館が拠点となって、今後ぜひ外に出る活動も考えていただき、図書館までたどりつけない方にも本を届けてほしいと思います。

図書館 移動図書館という形では難しいとは思いますが、それに代わって、団体貸出のご案内や、今後、高齢者福祉施設での読み聞かせなどの活動を実施することを検討しています。

- 利用者 現在、ひよこの会の方で悩みながら、どういった布の絵本を作るか決めています
が、できれば区民の方がどういうものを望んでいて、どういうものを作ってほしい
のかという声をいただければ作り甲斐があるので、お母さん方の意見の聞き取りや
意見箱等を通して、吸い上げてもらえれば大変ありがたいです。
- 図書館 方法・手段については検討し、利用者の意見を吸い上げられるようにします。
- 利用者 他の図書館では、おはなし会に図書館員が一人入ってくれているところがありま
す。図書館員の方がいると終わった後に、懇談などもできますし、子供たちも図書
館の若い方が来てくれるととても喜びます。お子さんとの繋がりもできるので、ぜ
ひ検討してほしいです。
- 図書館 どうやって入っていけばいいかなど検討します。
- 利用者 置き引きの館内放送についてですが、会議室利用中にこちらが興に乗ってくると
流れてきます。他の利用者も落ち着いて利用できない気がします。
- 図書館 大泉図書館での置き引き被害というものはありませんが、日に数回流しています。
対面朗読室利用時やおはなし会の時は邪魔にならないよう流さないようにしてい
ますが、流す回数など今後検討していきたいと思います。
- 利用者 開館当時は、児童書は1階にあり、スペースも比較的広がったのでたくさん本が
ありましたが、2階に移るにあたり本が3分の2位になってしまいました。書架が
限られているので、難しいとは思いますが、なるべく多くの本を書架に並べてほし
いと思います。
- 利用者 確かに開架の本は減ったのかもしれませんが、フロアが独立して、児童に対して
の張り紙もできますし、逆に使いやすくなったと私は思っています。
- 図書館 閉架もありますので全体で見れば少なくないとは思いますが、確かに見えてい
るところに本があるというのは大切なことだと思います。限られたスペースを有効に
使っていきたいと思います。

5 大泉図書館長からのあいさつ

この会を開催したことにより、図書館をご利用の皆様と図書館とが協働でやっていくとい
う形が見えてきたことは大変有意義だったと思います。また、団体同士の横のつながりとい
うものも模索することによって、さらに大泉を掘り下げることができるのではないかと思
いました。これからも皆さんと身近に接しながら、頼りにされ、愛される図書館というものを
目指していきたいと思いますのでご協力をお願いします。

本日はありがとうございました。